

精神保健福祉士



船木 陽介さん
2004年 現代福祉学科卒業
医療法人社団青山会 青木病院勤務

都庁職員



松村 卓真さん
2015年 福祉コミュニティ学科卒業
東京都庁勤務

特定地上職



影居 悠紀さん
2009年 現代福祉学科卒業
全日本空輸株式会社勤務

企画職



伊藤 大貴さん
2015年 福祉コミュニティ学科卒業
公益財団法人日本生産性本部勤務

心理職



小杉 佐紀さん
2015年 臨床心理学科卒業
東葛飾障害者相談センター勤務

銀行員



小枝 史さん
2015年 臨床心理学科卒業
株式会社三井住友銀行勤務

ゼミやフィールドワークで、見て、感じ、経験したことは財産です

大学時代に参加したボランティアや精神保健福祉士の現場実習を通して心の問題に関心をもち、精神科の病院で働きたいと思うようになりました。現在は、精神科病院の精神保健福祉士として、患者さんやご家族に対し、療養していく上で生じる様々な相談や社会復帰に関する援助を行っています。

学生時代は、特に家族問題や児童福祉に関心をもって学んでいました。ゼミの実習やフィールドワークでは、障害をもった方や児童養護施設で暮らす子どもたちと接して、生活の大変さや過酷な人生を目の当たりにしましたが、そのなかで「生きる喜び」を子どもたちから感じることができました。精神保健福祉士は、患者さんの生活や人生そのものに関わる仕事です。ゼミやフィールドワークで実際に見て、感じ、経験したことは、すべて今の仕事に生きています。

今後は病院の中での相談援助業務だけでなく、障害がある方やその家族、そして誰もが生きがいをもって、安心して暮らせる地域・社会づくりに貢献していきたいと考えています。



Message アンテナを広げて積極的に学んでください

実習や海外研修で養った視点を活かして、さらに都政に貢献したい

2年生のときに参加した海外研修で、北欧の福祉や地域づくりについて学習。それを日本の政策や制度に活かしたいと思い、公務員に絞って就職活動を行いました。現在は東京都庁で、都民の皆様から税金をお預かりする仕事をしています。その中で私は、固定資産税のひとつである土地の評価事務を通して、税額のもととなる価格の算出を担当。はじめは制度を理解するだけで精一杯でしたが、だんだんと都民の皆様からの質問にも答えられるようになり、日々やりがいや達成感を感じながら業務にあたっています。

現代福祉学部では、「人々がはつきりと提示するニーズはもちろん、心に眠っているニーズも発掘し、それを社会に還元する」という視点を学びました。これは福祉分野だけではなく、公務員にとっても大切な視点だと思います。今後はこの視点をより広い視野から捉え、都民の皆様が抱えるあらゆるニーズに耳を傾けていきたいです。そして、皆様と同じ目線に立ちながら一緒に良い東京をつくっていただける職員を目指していきます。



Message 実習やボランティアなど学びの場がいっぱいです

仕事の基礎となる「コミュニケーション力」が、ゼミや実習で身につきました

私は、航空会社の地上職として、飛行機に搭乗されるお客様の出発・到着時の窓口での対応や翌日以降の運行便のオフィスでの準備業務などを行っています。

空港には、あらゆる年代のお客様がいらっしゃるので、どんな方にも分かりやすく最新の情報をご案内することが重要です。ゼミ活動や海外研修、地域づくり実習などで培った「幅広い年代の方々と意見を交わす力」が、今、とても役に立っています。また、障害をもったお客様の対応をすることもするため、現代福祉学部でさまざまな障害についての基礎知識をしっかりと学んでおいてよかったと感じています。

2015年には出産し、育児休暇を取得。その経験から、妊婦のお客様がどのようなことに不便を感じ、手助けが必要かということを実感しました。おかげで、今ではさらにお客様に寄り添ったサービスを行うことができます。

母親であることをエネルギーに変えて、子育てを楽しみながら、たくさんのお客様の笑顔に出会えるこの仕事を、これからも続けていきたいです。



Message 将来の夢がきっと見つかります

百聞は一見にしかず。現場で得たスキルが、役立っています

福祉コミュニティ学科で地域づくりを学ぶなかで、将来は地域や企業に貢献できる会社に就職したいと考えていました。卒業後は、企業や労働組合、自治体などへ向けて、セミナーやコンサルティングを実施する公益財団法人に就職しました。私は、企業のキャリア開発のサポートやキャリアコンサルタント養成講座の企画・運営などを担当しています。1年目ながらセミナーの企画も経験し、日々新しいことに挑戦しながら業務にあたっています。

学生の頃、現代福祉学部の先生方は、口をそろえて「現場に出なさい」とおっしゃっていました。はじめて現場に出るときは不安で勇気がいりましたが、ゼミの調査や地域での活動を通して、リーダーシップやコーディネート力が身につく、今ではそれが仕事にとっても役立っていると感じます。

今後は、企業や自治体の課題にアンテナを張りながら、課題を解決するためのコンサルティングやさまざまなセミナーを企画、実行していけるように頑張っていきたいと思っています。



Message 現場での学びは将来に役立ちます

ゼミや実習での経験が、知的障害者との心の距離を縮めてくれました

千葉県心理職として採用され、3月まで東葛飾障害者相談センターで心理判定員として働いていました。現在は市川児童相談所で児童心理司として働いています。前職の主な業務は18歳以上の知的障害者の療育手帳（障害者手帳）の判定で、知能検査や結果に基づいた生活上の助言も行っていました。

知的障害をもつ方の中には、自分の言いたいことを上手く表現できない方がたくさんいるため、面接の場面では、私たちが相手の伝えたいことを敏感にキャッチすることが大切です。はじめは緊張の連続でしたが、臨床心理学科で学んだ“相手の訴えを様々な角度から想像する”というスキルが私の仕事をサポートしてくれています。また、仕事をするうえでは各市町村や福祉機関との連携が欠かせません。ゼミなどで培ったコミュニケーションスキルや知識を活かせる場面が多くあり、改めて現代福祉学部で学んで良かったと実感する日々です。

これからも様々な現場を経験してスキルを磨き、支援を必要とする人を一人でも多くサポートしていきたいです。



Message 自分自身の行動が学生生活を豊かにするカギ

実践型の授業で培ったスキルが、毎日の接客に生かされています

銀行の窓口業務は、それぞれのお客様に寄り添い、安心感をもって頂けるようなコミュニケーションを心がけることが大切です。私の場合、特に必要書類が多い運用相談や新規口座開設、各種変更手続きなどの業務を担当しているため、お客様と接する時間も長く、丁寧なコミュニケーションが求められます。

臨床心理学科で身につけた、「積極的傾聴」というカウンセリング技能は、限られた時間の中でお客様の気持ちや考えを的確に把握する際にとても役立っています。また、ご年配や障がいをもった方など、どんなお客様にも合わせる事ができるのは、学科で学んだスキルや知識のおかげだと感じています。将来、結婚や出産をしても、お客様と接する窓口業務は続けていきたいと思っています。

現代福祉学部は実践型の授業が多いので、仕事にも就活にも役立つ学びがたくさんあります。先生も自分が学びたい分野に対して親身になって相談に乗ってくれるので、大学で過ごす4年間は、きっと将来につながる貴重な時間になると思います。



Message 探究心をもって学んだことは自分の強みになります